

特價提供
 大...八圓
 中...七圓半
 小...七圓

其他合着
 新型取揃
十字屋 洋装店
 平町田町停車場新通



余釀造元
 酒 鶴仙
 石城郡平窪村
松吉屋本店
 電話二四一番

外科
 外科一般
 耳鼻咽喉科
 男性病科
 ×光線科
赤心堂病院
 田町 電話四七五番

内小兒科
 花柳科
 科 (需應院入)
 平町紺屋町
藤沼醫院
 電話園五七〇番



東高梨家秘傳名灸出張
 九月二十四日まで
 (受付時間) 毎日午前八時より
 午後三時まで

病氣全快の禮狀二百通持参したれば御覽下さい
 リウマチス、神経痛、脳、神経衰弱、脚氣、ぢ、血の
 道、子宮、ヒステリー、頭痛、生殖器不能、めまい、肩
 こり、腰痛、せんき、眼痛、心ぞう、中氣、中氣よぼ
 う、たんせき、せんき、水氣、いぢよう、ね小、便、
 りん病、せきすい、しやく、ぢんぞう、だつこう、は
 痛、耳鳴、もうちやう、はれいたみ、できもの、てん
 かん、とうじよう病、ごもり、いれき、氣管支、息
 出、かんの虫、月經痛、乳不足女、肋膜
 出張所 平町六丁目 救世軍前

近日常開

外科 日本醫學士 河井壽雄
 耳鼻咽喉科 日本醫學士 河原英雄
 小兒科 金澤醫學士 村島耕造
 産婦人科 藥劑師 河村晋平
 泌尿器科
 藥局
 入院の設備あり

博愛病院
 平町田町横丁(横内耳鼻科醫院跡)

豫て有名なる濱口熊嶽先生は十四日より
 平町平劇場に於て毎日午前六時より同九
 時迄四倉町は十六日より海盛座に於て毎
 日午前九時同十時二ヶ所掛持にて一般患
 者の施術の需に應じます(時間勵行)
濱口熊嶽師施術所



刊夕日三十月九

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社下町番地 (電話六三〇) 印刷所 東京毎日印刷所

定一冊五錢 五冊二十五錢 一ヶ月五錢 三ヶ月十五錢 半年三十錢 一年六十錢 印刷費別 郵送料別

學生の押賣
 新田目樂天居士
 承前
 極めて誠實を乞望する、實際は或は少しく高價たかも知れないが其れは私共の旅費の補助の意味に願ひたいと、依つて其れはいかん一休東京遊學に一ヶ月學費何十圓を要するや、曰はく七十五圓、即ち洋服、靴、和服等一切親持ちで毎月七十五圓の月給取なり、而して足には絹の靴下を用ゆ、然るに早稲田を卒業して社會に出て午前六時より午後六時迄働きて得る給料僅かに四

第二病室
 院長 醫學士 高久忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽清雄
 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
 平町田町電話五二三番

真正盛岡製南部鐵瓶
 御用ノ節ハ左ノ方法デ願ヒマス
 一、日掛金十錢ヅ、(金七圓以内ノ品ハ)
 一、日掛金廿錢ヅ、(金七圓以上ノ品ハ)
 一、月賦販賣モ致シマス
南部屋(吉田)
 平町南町廿九番地

電氣時計
 店頭ニ正確ナル時計ヲ取付
 マシタ御通りノ際ハ御合セ
 下サイ



秋の夜長には蓄音器
 一家團樂には蓄音器
 新譜各種取揃ました
會田時計店
 平町四丁目
 電話三六三

教育玩具
 毛糸諸糸
 書籍文具
 花カルタ
 トランプ
 ハーモニカ
 學校用品
 食料玩具
森下商店
 卸問屋
 平町一丁目

秋ガ訪レマシタ
 新型ノ中折帽・烏打帽
 子供帽モ澤山入荷シマシタ
ツルヤ
 四丁目

北陸電氣工業株式會社製
カーバイト
特約販賣
 福島縣平町壹丁目七番地
平銃砲火藥店
 電話園四四一番

れてもよい筈であるなどと
 言ふ者あるも買ふと買はざ
 るは當方の任意なり、學生
 の指圖を要せずと斷るべし
 斯の如き事は各學校共許可
 し居らず亦通學し居らざる
 者多く學校の證明書を持參
 せざる者のみなり故に一切
 斷るがよろじかるべし
 (をはり)
一冊の代金
 御希望通りな
五冊の雑誌
 自由に讀める
川崎文庫
 電話六三〇
 (申込次第規則書)

糸屋久兵衛の…… 子孫は何處に?

平役場に尋ね来た老婦人 百年前の手紙が手懸り

本日午前十時頃平町役場に
氣品いやしからぬ五十歳前
後の婦人が男の子と其お守
らしい婆やを供つて訪ね來
り「私は

東京市 神田區佐久
間町四丁目十八番地の高野
竹次郎と申す者の家内です

がもと私の先祖は仙台に居
りました、其節の事だらう
と思ふのですが文政八年(一
今から百三三年前)の年號で
私の先祖の者に平町の五丁
目で糸屋久兵衛と云ふ菓子
屋さんから手紙が参つて居
るので、其處で糸屋久

本社の調べに依つて

糸屋久兵衛の子孫判明

遙々東京から糸屋久兵衛の
子孫を探しに來た老婦人に
同情した本社記者はそれが
菓子屋であつたとの事を調
査の糸口として長橋町に同
業の店を持つ松屋松之助氏
に尋ねて見た處

「私が幼少の時分古い菓
子屋で糸屋久兵衛と云ふ
人のあつた事を聞き知つ
て居ります、其屋敷は五
丁目釜屋さんの附近だつ
たと記憶して居ますから
釜屋さんは御承知かと思
ひます今の代では竹さん
竹さんと申すばかりでよ
く姓名も承知して居ませ
んが餘程以前に平町を引
き拂つて何んでも茨城縣
多賀郡南中郷邊りに居る
と云ふ事です、今では何

旨を知らさうとしたが今度
は何處に宿所を定めたかが
判らぬ爲めに知らず術も
ない、漸くの事で矢張り糸
屋久兵衛の子孫を訪ねに四
丁目の管野乾物店に行つて
居る事を突き止めた電話を掛
けた所折よく居合したので
此旨を知らせると老婦人は
非常に喜んだらしく幾度も

平穩裡に磐炭會創立

上杉博士の講演に満堂心酔

石城郡内郷村磐炭礦の勞
働者を以つて組織せる磐炭
會は昨日内郷座及び磐城劇
場の二ヶ所に會場を設けて
午前と午後の二回に亘り創
立發會式を舉げたが

態度が強硬

礦毒問題で

石城郡内郷村では既報の如
く本年の水田百六十八町歩
が礦毒の害をこうむつたと
て會社の間に賠償問題で
交渉中であるが會社は毎年
の事では要求に應じ得ぬか
ら今後は一切賠償せぬ、會
社は適法の下に採炭も排水
もしてゐるのであると強硬
な態度に出てるので、村で
は十日農會評議員會を開き
更に協議を遂げた

宣傳デー

けふの記念日

今十三日は恩赦令の發布さ
れた記念日で全國保護團體
は「自立し得ない放免者」
の保護を一齊に宣傳する爲
めの釋放者保護宣傳デーで
あるので平町八幡小路にあ
る平自營會でも之れが大々
的宣傳をなすべく平町及四
ッ倉、湯本町には自動車數
台によつて約四千枚の宣傳
ビラを配布する外郡内は勿

老婆の自殺

山林でい首

石城郡磐崎村大字藤原字源
内居住安積郡富田村生れ藤
原炭礦雜夫安齊長人の繼母
リヲ(五)は長人の内縁の妻
柿沼エキ(五)と折悪く内縁
もめが絶えない處から自殺
を企て十一日午後二時頃無
斷家出し同村奴加利澤山林
にて風呂敷を被り縊死し平
署林部長検視を遂げた

兔の耳

動蕪々たる北伐軍

論双葉郡内の各町が
枚のビラを配布した
内輪もめから

天候

晴れ一時曇り

南洲翁の一面觀

櫻井警女校長の講演

平町十三日會は本十三日午
後七時より平銀行樓上に於
て例會を開き警城高等女學
校長櫻井賢文氏の「南洲翁
の一面觀」と題する講演あ
る筈

平町人事

出生

△彌宜町七 星清氏次男貞敬
△久保町四 鈴木菊之助氏長男勲
△二丁目五 富谷利喜松氏二男義伯
▲死亡
△田町四 丸藤金八(四七)
△大工町一 石山タキ(五二)
△南町五〇 中島春子(一三)

高月台の上に…… 若人の血は高鳴る

昨日の中等學校体育大會 壯烈な各種競技

本縣中等學校第五回体育大
會競技部競争は十二日午前
八時から平町警城中學校グ
ラウンドにおいて開催され
た、縣下中等會校長

その他

各校應援團はグラウンドの
周圍に陣取り競技の開始を
片唾を呑んで待ち受けた、
定刻會津中學校を先頭に十
五校の選手約二百名が隊伍
を組んで
入場し 競技部長知

鮭の子放流

實施上の打合

丸山三郎▽三哩、二着磯
田向▽棒高飛、三等中野
高夫▽ミトレリ▽リレー
ース、一着四分九秒警中

雑踏を整理

搔搔小路青年が出勤

流する豫定のもとに來る廿
日石城郡小名濱町縣水産試
験場で關係各漁業組合長會
議を開き實施上の打合せを
なす筈であるが右の經費は
約三萬圓である